

本巢市民俗資料館（仮称）の展示構想

平成 24 年 2 月 24 日
本巢市民俗資料館検討委員会

I・展示構想の基本的事項

1・「本巢市歴史民俗資料館」の常設展示は、以下の 4 部から構成される。

① 本巢のまつり

② 本巢の歴史

③ 本巢の暮らし

④ 先人の顕彰

2・「本巢市歴史民俗資料館」の展示には、上記常設展示とは別に、年数回テーマを設定して企画展示を行い、常設展示と合わせ展示に、変化と深さを持たせるものとする。

3・展示は臨場感を持って理解できるよう、可能な限り工夫する。

4・文字による解説資料あるいは図・表等による解説は必要最小限にとどめ、実物資料「物」に語りかける力を与えた展示に心がける。

5・展示資料は、できる限り資料が生きて機能していた状態を再現できるよう工夫する。

6・展示には、親しみ易さ、身近さを感じることが大切であり、適切に手で触れ体感できるコーナーを設ける。

II・常設展示の構成

(1) 本巢のまつり

時期を区切り、本巢市内のまつりを順次紹介する。

- ・ 伝統・歴史
- ・ 絆 ・ 一体感
- ・ 団結力・地域エネルギー

(2) 本巢の歴史

①原始・古代の本巢

- ・ 根尾川と本巢の扇状地
- ・ 縄文 弥生
- ・ 船来山古墳群及び本巢の古墳とその副葬品
- ・ 東山道と古代寺院

②中世・近世の本巢

- ・ 歌に詠まれた本巢の風景
- ・ 古田織部と戦国武将の活躍
- ・ 江戸期の本巢の領主
- ・ 席田用水と水争い
- ・ 真桑瓜と幕府への献上

③近代・現代の本巢 村から市へ～本巢市の誕生まで

- ・ 本巢市へのあゆみ
- ・ 濃尾大震災
- ・ 鉄道と道路
- ・ 産業の発展 富有柿の産地として
- ・ 学校教育と文化の充実

(3) 本巢のくらし

①「着る・かぶる・はく」文化

普段着

働く服装

晴れ着

②「食べる・飲む」文化

食材

食器

炊事場

燃料

③「住まう」文化

家屋の構造

仕事場

灯り

暖房

仏壇

神棚

便所

④「つくる」文化

稲作生産用具

養蚕関係用具

富有柿の生産その他果樹栽培

園芸（玉葱・イチゴ・真桑瓜）

山樵・林業関係用具

（４） 先人の顕彰

高木貞治博士ほか